

〔 横浜市陶芸センター 〕  
 令和4年度業務計画及び収支予算  
 〔 シンリュウ株式会社 〕

- ※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業 ○：共催事業  
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
 □：定量的指標 ■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市陶芸センター
所在地	横浜市中区本牧三之谷 59-3
構造・規模	木造平屋建て及び登り窯1棟(別棟)
敷地・延床面積	延床面積 396 m <sup>2</sup> 登り窯延床面積 60 m <sup>2</sup>
開館日	平成5年8月

2 指定管理者

法人名	シンリュウ株式会社
所在地	埼玉県朝霞市上内間木 514-2
代表者	小澤 忠
設立年月日	平成2年4月26日
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜市陶芸センターの役割は陶芸を通して、あらゆる世代が活躍できる魅力ある町づくりに寄与していくことです。未来に向けた新しい陶芸センターのあり方として、陶芸文化発信・拠点となり地域の活性化につなげる役割を担うため、市民が陶芸に親しむ機会を提供するとともに、市民の作陶技術向上の支援を行うことにより、陶芸の普及を図ることです。安定的管理運営を前提とし、これまでの運営経験を活かしながら様々なニーズに合ったきめ細かな対応を行います。そのために次の4つの方針で横浜市陶芸センターの管理運営に取り組めます。

1. 作陶講座を常に充実・向上させる

限りあるスペースを最大限活用しながら、ニーズに合わせた講座開催を行います。講座ごとに改善点を見直し、より多くの方に陶芸に親しむ機会を提供します。初めて陶芸を体験する方に

に向けた講座、より本格的な陶芸を学びたい方に向けた専門講座、全国陶芸産地の粘土・釉薬・焼成方法を取り入れた全国のやきものを楽しむ講座等、システム作りに努め、指定期間を通じて、常に講座内容の充実・向上を目指します。

## 2. 陶芸知識の基地化、次世代育成の支援を推進する

陶芸文化の拠点として、SNS を活用しながら解かりやすい陶芸知識の発信や、陶芸ライブラリーの充実（陶芸図書、デジタルアーカイブ）、子ども、陶芸愛好家・指導者・作家等の支援、親子陶芸教室、要望に応じた団体教室の開催が考えられます。また、招待作家講座（現在活躍している陶芸家を招いた講座）を引き続き開催し、陶芸の新しい時流を感じて頂き、施設スタッフも含めた施設の活性化を推進します。

## 3. 地域社会との連携に取り組む

陶芸祭や共催企画により、隣接している三溪園や本牧市民公園、地域の商店街と連携し、地域の活性化に努めます。また、近年の増加している災害に対応するため、緊急時の防災対策についても近隣施設、地域と連携しながら、安全・安心して作陶できる環境に取り組みます。

## 4. 環境に優しい施設を目指す

自然環境に配慮した取組みを行います。不良在庫を減らすための期間限定粘土・釉薬の予約販売の促進や、酸化金属を含む釉薬を下水に流さない取組み、大量の産業廃棄物となる使用済粘土のリサイクル等に取り組めます。自然環境に配慮した施設運営を目指します。

# (2) 令和4年度の業務の方針

## ア 全体について

令和4年度の業務方針は陶芸人口裾野拡大と作陶活動拠点施設として、今後指定管理期間5年間における基礎を再構築してゆきます。

あらゆる世代、ニーズに対応するため様々な講座を開催し、利用率のさらなる向上を目指します。新型コロナウイルス感染の影響により、近年は居住地域において生活を楽しむ傾向があるため、近隣地域の人々がより気楽に施設を利用しやすい講座・企画を実施し、様々な市民が陶芸に親しむ機会を提供します。

感染症対策では令和3年度より引き続き換気、検温、体調確認、消毒作業を徹底し、利用者、スタッフが安心して利用できる体制を継続していきます。持続可能性を高める施設運営として、日常的な施設建物・設備の点検、効率的な運営の努力を行います。また、粘土・釉薬の再生に取り組めます。

## イ 使命1 陶芸に親しむ機会を提供する

初心者（子供）から経験者、いろいろな方が陶芸に親しみ教室に参加しやすい講座体制を構築します。そのため自主事業講座を、①体験型教室、②基礎型教室、③自立型教室の3つに分類し、あらゆる人々に広く対応した様々なテーマの講座を実施します。

ウ 使命2 市民の主体的な作陶活動を支援する

市民の主体的な作陶活動の支援として、①追求型講座と②専門技術習得講座の2つに分類し、より深く陶芸に取り組める場を提供します。アンケート調査や利用者からの声を聞き取り、改善点を分析し利用者の満足度向上に努めます。

エ 使命3 陶芸を媒介としたネットワーク構築を推進する

作陶活動の拠点として、①支援型講座、②共催企画の2つに分類し、企画・講座を設定することで地域施設と連携し、陶芸を介して様々な支援を行い地域社会に貢献します。

オ 使命4 持続可能性を高める施設運営を行う

持続可能性を高める取組みとして、①日常的な施設建物・設備の点検②環境に優しい施設維持管理③効率的な運営の努力を行い、施設の安全・快適な維持管理と安定的な施設運営を目指します。

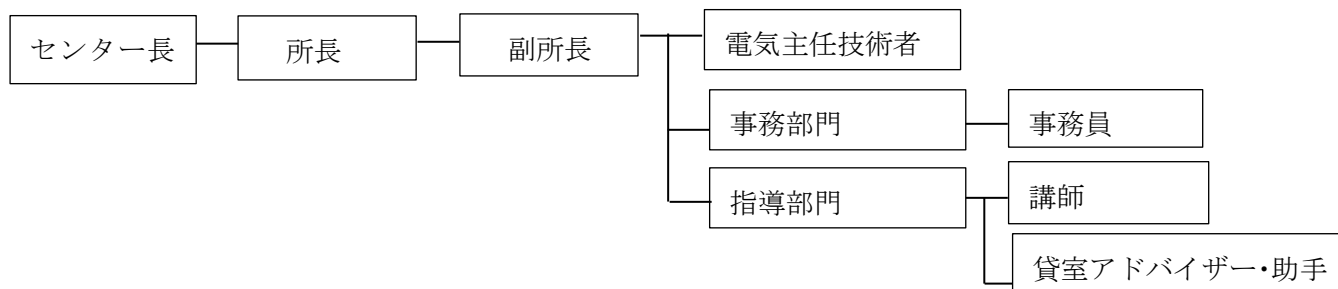
カ 使命5 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底するとともに、感染症の影響が長期化した場合も、体験教室等広くあらゆる市民が利用可能なように、変化に対応できる企画・講座スケジュール日程を構築し、施設運営を行います。

4 運営組織の構造、人員配置

項目	人数	備考
センター長	1人	全体総括責任者
所長	1人	事業・運営・管理・個人情報管理・全業務現場責任者
副所長	1人	講座運営企画・施設維持管理・備品管理責任者 緊急時所長代行・緊急時講師代行 防火責任者・広報・講師事務総括（事務、指導部門との調整）
事務員	2人	受付業務、ローテーション勤務
講師	11人	教室の指導、一部アドバイザー・助手兼務 ローテーション勤務
貸室アドバイザー・助手	6人	一部講師、助手兼務、ローテーション勤務
電気主任技術者	1人	電気設備点検・維持・管理

<組織図>



事務員、講師、貸室アドバイザー、助手をローテーション勤務体制とし、講座運営に支障のないようにする。職務分担の徹底により効率的な業務遂行を行う。事務部門、指導部門との円滑な連携を図るため、講師も兼任できる技量をもつ社員を1名配置します。

## 5 令和4年度の業務の取組

### (1) 文化事業

令和4年度は①、②を重点的に取組みます。

- ① 親子陶芸教室、団体教室等、次世代育成に関する講座を拡充します。
- ② 市内の公益的作陶活動に対する情報提供や相談対応等に積極的に取り組み、陶芸知識発信による基地化を進めます。

※具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

### (2) 施設運営

令和4年度は①～⑥を重点的に取組みます。

- ① 貸室及び自主事業の利用者数について、年間12,255人を目指します。
- ② 適切な施設運営のため年間356日の開館とし、利用者の便宜を図り利用促進に努めます。
- ③ 利用率増加のため、新規釉薬・粘土の導入に取組みます。
- ④ 利用者アンケートを活用した利用者サービス向上と利用を促進します。
- ⑤ 限りあるスペースを最大限活用し、施設スペースの有効利用に取組みます。
- ⑥ 組織的な施設運営、効率的業務遂行、適切かつ効果的な勤務体制の確立に努めます。

※具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

### (3) 施設管理

令和4年度は①～③を重点的に取組みます。

- ① 施設、設備等の適切な管理のため、修繕が必要と思われる箇所を常に洗い出し、出来る限り自前修繕で対応しながら高額修繕に備え、事業運営に支障が出ないように努めます。
- ② 陶芸センター周辺の環境を常に意識し、建物及び登り窯の管理に当たります。
- ③ 汚泥量調査を実施し、適切な汚泥管理、環境維持に努めます。

※具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

### (4) 収支

令和4年度は安定的な運営を行うため、魅力ある講座の開催、効率的な業務システムの構築、日常点検による小破修繕、在庫管理の徹底を重点的に取組みます。

※具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

### (5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

令和4年度は日報、月間事業報告書、業務計画書、業務報告書を作成・管理するとともに、自己評価を行い、業務改善に取組みます。

※具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

### (6) その他

令和4年度は法令の遵守、個人情報保護、情報公開について、適切に対応するとともに、横浜市との連絡調整を密にし、円滑な業務遂行に取組みます。

※具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

6 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 使命1 陶芸に親しむ機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	総来場者数		11000 人				13000 人	
2	次世代育成を目的とした事業の実施回数		5回				7回	
3	各事業のターゲット設定（初心者、中級者等）及び事業参加者数に対するターゲットとなる参加者の割合（アンケート調査）		60%				80%	
4	参加者の満足度（アンケート調査）		70%				80%	
★	体験型教室	気楽に一日陶芸体験（手びねり）	7回/年				7回/年	
			84人				84人	
		気楽に一日陶芸体験（電動ロクロ）	7回/年				7回/年	
			84人				84人	
		ゴールデンウィーク陶芸体験（手びねり）	5回/年				5回/年	
			60人				60人	
		ゴールデンウィーク陶芸体験（電動ロクロ）	5回/年				5回/年	
			60人				60人	
ゆったり丸一日陶芸体験	7回/年				7回/年			
	84人				84人			
		5回/年				7回/年		

		夏休み親子陶芸教室		100人				140人	
6 ★	基礎型教室	陶芸入門4日間講座		5回/年				5回/年	
				120人				120人	
		陶芸入門3日間講座		1回/年				1回/年	
				18人				18人	
		陶芸入門2日間講座		1回/年				1回/年	
				12人				12人	
7 ★	自律型教室	自由作陶教室（10回コース）の開催		4回/年				4回/年	
		利用者数		6358人				6720人	
		第2自由作陶教室（10回コース）の開催		4回/年				4回/年	
		利用者数		328人				328人	

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の意見聴取及び分析	R 4 実績	
		R 5 達成指標	実施
		R 5 実績	
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	実施
		R 8 実績	

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

幅広い年齢層に広く情報発信（周知）を行い、指標人数達成を目指します。アンケート調査や利用者、指導現場スタッフの声を聞き取り、毎回改善点を分析し、利用者の満足度向上と講座内容の見直しに努めます。

## (2) 使命2 市民の主体的な作陶活動を支援する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	
1	貸館(貸室) 利用者数		3920人				4480人		
2	作陶に関する専門技 能や知識習得につな がる事業の実施回数		17回				20回		
3	利用者満足度 (アンケート調査)		70%				80%		
4 ★	追 求 型 講 座	全国やきもの講座		2回/年			4回/年		
		利用者数		70人			140人		
		還元焼成講座		4回/年			4回/年		
		利用者数		300人			300人		
		大物焼成講座		12回/年			12回/年		
		利用者数		24人			24人		
		作陶展		1回/年			1回/年		
5 ★	専 門 技 能 習 得 講 座	電動ロクロ水挽き 徹底講座		1回/年			2回/年		
		利用者数		24人			48人		
		絵 付 け 講 座	上絵付 (3日間コー ス)		1回/年			1回/年	
			利用者数		18人			18人	
		染 付 (1日間コー ス)	染付 (1日間コー ス)		1回/年			1回/年	
			利用者数		6人			6人	
		招待作家講座		1回/年			1回/年		
		利用者数		14人			14人		

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
		R 4 実績	R 5 達成指標
1	利用者の状況についての現状把握 (利用者との意見交換等)	R 4 実績	
		R 5 達成指標	実施
		R 5 実績	
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	実施
		R 8 実績	

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

利用者が継続して陶芸に楽しみ、横浜に居ながら全国のやきものに触れる機会を提供します。陶芸産地の粘土・釉薬を気楽に体験できるように、様々な粘土・釉薬・焼成方法を取り入れた企画を実施し、指標達成を目指します。

(3) 使命3 陶芸を媒介としたネットワーク構築を推進する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	技術向上、指導力養成、出張教室を実施した回数		2回				5回	
2	地域の施設・団体等と共催・連携して実施する事業数		10事業				15事業	
3 ★	支援型講座	指導者研修講座		2回/年			2回/年	
		利用者数		48人			48人	
		団体教室 (通常プラン)		5回/年			8回/年	
		目標利用者数		150人			240人	
		団体教室 (オーダープラン)		5回/年			7回/年	
		利用者数		150人			210人	
		出張教室		1回/年			3回/年	



		利用者数	15人				45人	
4 ★	共 催 企 画	三溪園共催企画 (作陶展)	1回/年				1回/年	
		目標利用者数	30人				30人	
		本牧市民公園、 地域商店街との 共催企画	1回/年				1回/年	
		楽焼体験教室 (陶芸祭体験)	1回/年				1回/年	
		目標利用者数	20人				20人	
		手びねり体験教 室(陶芸祭体 験)	1回/年				1回/年	
		目標利用者数	16人				16人	
		電動ロクロ体験 教室(陶芸祭体 験)	1回/年				1回/年	
		目標利用者数	16人				16人	
		陶芸文化鑑賞講 座 (隔年開催)	1回/年				1回/年 隔年開催 R7実施予 定	
		目標利用者数	15人				15人	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携したことによる関係者の意見聴衆及び分	R 4 実績	
		R 5 達成指標	実施
		R 5 実績	
		R 6 実績	

	析	R 7 実績	
		R 8 達成指標	実施
		R 8 実績	

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

いつでも気軽に陶芸についての質問・疑問に対応できるように、常時電話・メールでの受付を実施します。支援型講座は夏休み期間に設定し、子供から平日利用が難しい一般の方向けに講座日程設定し、指標達成を目指します。

(4) 使命4 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数			0件				0件	
2	法定点検等の実施率 100%			100%				100%	
3	修繕予算の執行率 90%以上			90%				90%	
4 ★	日常的な 施設 建 物・ 設備 の点 検	施設建物目視 点検		毎日				毎日	
		陶芸道具類の メンテナン ス、在庫管理		週1回				週1回	
5 ★	環境 に優 しい 施設 維持 管理	粘土・釉薬の 再生(リサイ クル)		月2回				月2回	
		粘土・釉薬を 直接下水に流 さない		毎日				毎日	
		排水溝・桝掃 除		年2回				年2回	
		登り窯(レプ リカ)の適切 な管理		2ヶ月 1回				2ヶ月 1回	

6 ★	効率的な 運営 の努 力	早めの計画		週 1 回				週 1 回	
		業務マニユアルの見直しと改善		年 1 回				年 1 回	

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	管理運営 費水準の 要因分析	R 4 実績	
		R 5 達成指標	実施
		R 5 実績	
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	実施
		R 8 実績	
2 ★	効率的な 運営の努 力	R 4 実績	
		R 5 達成指標	高額修繕の回避
		R 5 実績	
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	高額修繕の回避
		R 8 実績	

ウ 使命 4 を達成するために重点的に取り組む事項

施設・設備の毎日の見回り点検による小まめな修繕を行います。定期的な施設の維持管理を確実に実施し、効率的な運営を行うために改善点を分析し、指標達成を目指します。

